



週間情報



No.0640

発行日 令和6年10月8日

発行所 全国消防長会
一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-4500-6622

両会の動き

◆ 沖縄県消防学校に記念品を贈呈

沖縄県消防長会（沖縄）

沖縄県消防長会では、令和6年9月21日（土）、沖縄県消防学校に対して、記念碑と黒木を贈呈しました。

この贈呈は、開校50周年という輝かしい節目を迎えたことから、県内消防本部へお声掛けし、多くの賛同とご寄付をいただき実現したものです。

なお、記念碑に刻まれている「訓練に終りなし」の文字は、前那覇市消防局長である照屋雅浩氏の直筆となっています。

今後も、沖縄県消防学校が原点回帰の場所として、優秀な消防人を多く輩出することを祈念いたします。



【記念碑】



【記念碑を囲んでの記念撮影】

消防本部の動き

訓練

◆ はしご小隊消防活動訓練効果確認を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁志村消防署では、令和6年9月9日（月）、10日（火）の2日間、はしご小隊消防活動訓練効果確認を実施しました。

当庁は、リフター付きはしご車両がすべて廃止され、伸縮水管とモニターノズルを全車両に実装したほか、バスケット最大搭乗人数が増加するなど車両機能を更新したことから、はしご車の消防活動基準を改正しました。

当日は、「耐火造5階建て複合用途建物の4階共同住宅部分から出火し、要救助者が複数人いる。」との想定で、はしご車の新活動基準に基づき、要救助者の救出方法を再確認し、消防活動能力の向上を図ることができました。



【訓練の様子】

◆ 消防団と合同で解体予定の建物を活用した警防活動訓練を実施

福山地区消防組合消防局（広島）

福山地区消防組合消防局では、令和6年9月10日（火）、消防団と合同で解体予定の建物を活用した警防活動訓練を実施しました。

この訓練は、実際の建物を活用して、倉庫火災における消火活動要領、多数の隊の安全管理を含めた活動統制、災害実態の把握について研究と検証を行うことを目的として実施したものです。

当日は、実際に建物内の一区画を燃焼させ、高温・濃煙環境下での消火活動、人命検索活動、急速に火災が拡大した場合の隊員の緊急脱出活動を行ったほか、消防活動用ドローンを活用した上空からの情報収集など、さまざまな場面を想定した訓練を実施しました。



【訓練の様子】

◆ 航空隊と合同で救急救助連携訓練を実施

真庭市消防本部（岡山）

真庭市消防本部では、令和6年9月12日（木）、岡山県消防防災航空隊と合同で、山岳事故を想定した救急救助連携訓練を実施しました。

当日は、「蜂に刺された男性がぐったりしている。」との想定で、地上で活動する真庭消防署の救助隊、救急隊と同航空隊が連携して要救助者を救出し、効果的な救助活動技術の向上を図りました。

参加した隊員から、「無線交信要領、機内における情報伝達要領、コミュニケーションの難しさ、地上隊の現在地を早期に周知する重要性、航空隊員との連携の重要性を改めて感じた。」との声を聞くことができました。

今後も、訓練や意見交換を継続し、同航空隊との連携強化を図るとともに、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 警察機関とCSRM合同訓練を実施

那覇市消防局（沖縄）

那覇市消防局では、令和6年9月20日（金）、沖縄県警察本部警備部機動隊とCSRM合同訓練を実施しました。

当日は、大規模災害時における建物倒壊・座屈救助を想定した訓練を行い、それぞれが保有する資機材や活動要領の特性について共有したほか、実災害時における初動対応などについて相互に理解を深めることができ、同機動隊と連携を強化しました。

今後も、大規模災害に備え、関係機関との連携強化を図るとともに、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】

◆ 救急総合シミュレーション訓練を実施

宮古島市消防本部（沖縄）

宮古島市消防本部では、令和6年9月26日（木）、27日（金）の2日間、救急総合シミュレーション訓練を実施しました。

この訓練は、警防課と指導救命士が企画し、救急隊が統一的な活動を行うために、救急活動時の共通認識を深めることを目的として実施したものです。

今後も訓練を継続し、隊員間の連携を強化するとともに、市民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練後の検討会の様子】

研 修

◆ 重機オペレーター研修を実施

尾三消防本部（愛知）

尾三消防本部では、令和6年9月8日（日）から10日（火）までの3日間、重機オペレーター研修を実施しました。

この研修は、緊急消防援助隊などで重機隊の要請が増加していることから、オペレーター技術の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、重機ボランティアとして災害救援活動を行っている「DRT-JAPAN三重」の代表である山本俊太氏を講師としてお招きし、重機のオペレーター技術についてご指導いただき、今までの重機訓練とは違い、新たな重機の運用方法を学ぶことができました。

今後も、愛知県唯一の重機隊としてレベルアップに努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ コミュニケーション力・スキルアップ研修を実施

東根市消防本部（山形）

東根市消防本部では、令和6年9月17日（火）、24日（火）の2日間、コミュニケーション力・スキルアップ研修を実施しました。

この研修は、階級や世代間のコミュニケーション不足などによって発生するハラスメントを防止し、風通しの良い職場を作ることを目的として実施したものです。

当日は、54人が参加し、コーチング・メンタルヘルス研修Present Time代表の塩野貴美氏を講師としてお招きし、相手を尊重したうえで自分の考えや意思を率直に主張する手法などについて、アクティブラーニングを取り入れながらご講義いただき、活発な意見交換の場となりました。

今後も研修を継続し、職員の働きやすい職場環境を整え、心身の健康状態を維持するとともに、市民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【研修の様子】

その他

◆ 外国人を対象に救急啓発活動を実施

菊池広域連合消防本部（熊本）

菊池広域連合消防本部では、令和6年9月9日（月）、「救急の日」の一環として、菊池市で働く外国人を対象に救急啓発活動を実施しました。

これは、近年、救急通報が増加するなか、菊池市在住の外国人が前年から2割以上増加したことから、性別や国籍にかかわらず迅速な救急活動につなげることを目的として実施したものです。

当日は、2021年に運用を開始した「多言語電話通話サービス」の通報訓練を行ったほか、スマートフォンにてリアルタイムで現状を共有できるシステム「Live119」について説明しました。

また、心肺蘇生法とAED取り扱い訓練を実施し、救急啓発活動はもとより外国人に安全・安心を提供することができるイベントとなるよう工夫しました。

参加した外国人から、「日本語で伝えるのが難しいこともある。通訳の人から安心してくださいと声をかけてもらったのが良かった。」との声を聞くことができました。



【通報訓練の様子】



【AED取り扱い訓練の様子】

◆ 防火ポスターの審査会を実施

松本広域消防局（長野）

松本広域消防局では、令和6年9月12日（木）、防火ポスターの審査会を実施しました。

当日は、管内の小学4年生から応募があった1,278作品の中から、予備審査を通過した118作品を審査し、最優秀賞1作品、優秀賞7作品など入選40作品を選出しました。

今年度は、パリ2024オリンピックの開催年であったことから、「金メダル」にちなんだ作品や、「たこ足配線」、「リチウムイオンバッテリー」などの電気火災に関する作品が多く寄せられました。

当消防局では、入選作品をポスターやポケットティッシュのデザインに採用し、火災予防運動をはじめとする広報活動で活用してまいります。



【審査会の様子】

◆ 「消防士のお仕事体験会」を実施

袋井市森町広域行政組合袋井消防本部（静岡）

袋井市森町広域行政組合袋井消防本部では、令和6年9月14日（土）、袋井消防庁舎において、袋井市と森町の少年消防クラブ員を対象に「消防士のお仕事体験会」を実施しました。

これは、幼少期における防火防災教育の推進と、未来の防火防災リーダーを目指すきっかけを作ることを目的として実施したものです。

当日は、19人の同クラブ員が参加し、消火体験、応急救護体験、地震体験車搭乗体験、危険予知トレーニング（KYT）など、7種類の体験型カリキュラムを実施しました。

参加者からは、「火事や地震でケガをしないためには、日頃から注意し、備えておくことが大事だと知りました。友達に教えていきたい。」との声を聞くことができ、防火防災リーダーとしての自覚を感じることができました。



【消火体験の様子】



【危険予知トレーニングの様子】

◆ 幼年消防クラブに鼓笛隊セットを贈呈

みやま市消防本部（福岡）

みやま市消防本部では、令和6年9月19日（木）、一般財団法人自治総合センターの助成を受け、山川東部保育園幼年消防クラブに対して、鼓笛隊セットを贈呈しました。

これは、同センターが宝くじの社会貢献広報事業として行っているコミュニティ助成事業を活用し、幼年消防クラブの育成や防火思想の普及啓発を図ることを目的として贈呈したものです。

今後、贈呈された鼓笛隊セットを活用し、住民との融和と協調性が育まれ、地域防災力の向上につながれば幸いです。



【贈呈後の記念撮影】



【演奏の様子】

◆ 「ファミリーフェスタ」において消防広報を実施

田川地区消防本部（福岡）

田川地区消防本部では、令和6年9月21日（土）、管内の病院が主催する「ファミリーフェスタ」に参加し、消防広報を実施しました。

当日は、子ども用防火衣の試着体験コーナー、煙体験ハウスコーナー、消防車両展示コーナーを設け、子ども用防火衣の試着体験コーナーでは、試着した子どもたちが消防車両と記念撮影を行っていました。

イベントを通じて、子どもたちが楽しみながらも「消防」を身近に感じていただくことができ、火災予防啓発につながるイベントとなりました。

今後も、各種イベントで消防広報を継続し、消防の魅力を発信してまいります。



【消防車両展示コーナーの様子】

◆ 「第20回消防フェスティバル」を開催

喜多方地方広域市町村圏組合消防本部（福島）

喜多方地方広域市町村圏組合消防本部では、令和6年9月22日（日）、当消防本部において、消防フェスティバル実行委員会が主催する「第20回消防フェスティバル」を開催しました。

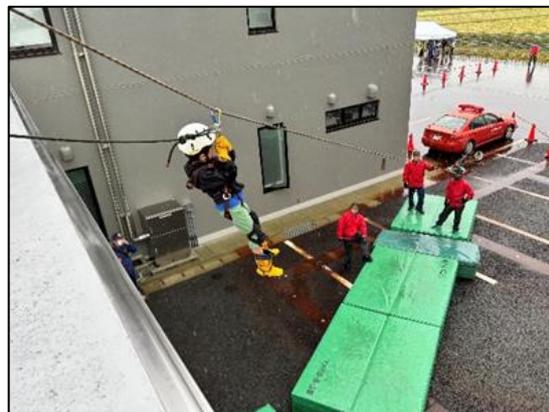
このイベントは、来場された子どもや地域住民に、消防を身近に感じていただき、火災予防の啓発と防災意識の高揚を図ることを目的として開催したものです。

当日は、約1,000人が来場し、喜多方市立第一こども園の園児によるアトラクションと、救助隊による訓練展示でオープニングを飾った後、ミニ消防車・救急車の乗車体験、斜め降下体験、水平渡過体験、消火体験などさまざまな体験をしていただきました。

今後も関係団体と連携し、防火・防災意識の普及啓発に努めてまいります。



【園児によるアトラクションの様子】



【斜め降下体験の様子】

国等の動き

消防庁通知等

◆ 消防団員の準中型免許の取得促進等について

（消防地第567号、令和6年9月26日）

消防庁国民保護・防災部地域防災室長から各都道府県消防・防災主管部局長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

道路交通法の一部を改正する法律（平成27年法律第40号）の施行に伴い、平成29年3月12日以降に取得した普通免許で運転できる自動車の車両総重量は3.5トン未満となっており、令和6年4月1日時点で、制度改正後の普通免許を保有する消防団員は69,221人（消防団員全体の9.3%）に達しています。今後も、同法施行後の普通免許を保有する消防団員が増加することが見込まれるため、車両総重量3.5トン以上の消防自動車を所有している消防団においては、当該自動車を運転する消防団員の確保が課題となることが想定されます。このため、特に下記事項に留意の上、必要な取組を行っていただくようお願いいたします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/syoboudan.pdf>) に掲載されています。

消防庁国民保護・防災部地域防災室
川崎補佐、山下係長、高村事務官
TEL：03-5253-7561
E-mail：syobodan@ml.soumu.go.jp

報道発表

◆ 「令和7年度危険物安全週間推進標語」及び「令和6年度危険物事故防止対策論文」の募集 (令和6年10月1日、消防庁)

消防庁では、危険物を取り扱う事業所における自主保安体制の確立を図り、危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を推進するため、「令和7年度危険物安全週間推進標語」及び「令和6年度危険物事故防止対策論文」を募集します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/3ccc115fa6fd2f199d695b37a7daa038a0aa8e77.pdf>) に掲載されています。

連絡先	消防庁危険物保安室 石野課長補佐 若菜事務官、田中事務官
TEL	03-5253-5111(代表)
TEL	03-5253-7524(直通)

情報提供

◆ 「ぼうさいこくたい2024 in 熊本」の開催について

全国消防長会

熊本県熊本市において、令和6年10月19日(土)、20日(日)の2日間、防災推進国民大会2024(ぼうさいこくたい2024)が「復興への希望を、熊本から全国へ ～伝えるばい熊本!がんばるばい日本!～」をテーマに、熊本県で開催されます。

ぼうさいこくたいは、防災に関する活動を実践する多様な団体・機関が一同に会し、取り組み・知見を発信・共有する日本最大級の防災イベントで、平成28年から開催され今回で9回目となります。

※全国消防長会では、会長が本イベントを主催する防災推進国民会議の議員を務めています。

【ぼうさいこくたい2024開催内容】

防災力の向上へつなげるプログラムとしてセッション、ワークショップ、ステージ発表、屋外展示などを実施します。

1 開催日程

令和6年10月19日(土) 10時30分～18時00分
10月20日(日) 10時30分～15時30分

2 開催場所

- ・熊本城ホール(熊本県中央区桜町3-40)
- ・熊本市国際交流会館(熊本県中央区花畑町4-18)
- ・花畑広場(熊本県中央区花畑町7-7)

3 主催

防災推進国民大会2024実行委員会(内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議)

4 参加費

無料

5 ウェブサイト

(<https://bosai-kokutai.jp/2024/>)

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0617）1ページ、機関誌「ほのお」2024年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」担当：企画課 児嶋

原稿データは、kikakeikaku@fcj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 岡崎

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者からメールを返信させていただきます。

TEL：03-4500-6622 「週間情報」担当：企画課 須藤

原稿データは、weekly@fcj.gr.jpに送信願います。